

10月の作業



竹林の整備

古い竹を伐採 切った竹は竹棒にして
キンランの目印に利用する



シイタケ原木周辺整備

林内伏せした原木周辺の雑木を
伐採する



階段の補修

森の観察路を間伐材で補修する



○ フジの剪定

今年もフジの剪定を今岡さんがやってくれました。
梯子にあがり、丁寧に剪定が行われました。お蔭で
藤棚がきれいになり、来年も見事な花が楽しめます。
今岡さんは、現在 94 歳ですが今も元気で田和山の
活動に参加されています。



フジの花イラスト



○ シイタケの収穫

去る 5 日 (金) 今秋初めてシイタケの収穫があり
ました。春に本伏せした原木にたくさん生えており、
女性群が 丁寧に摘み取りました。取ったシイタケ
は初物として参加者で分けて持ち帰りました。焼い
たり、煮 たり、和え物にしたりして食べたこと
でしょう。



シイタケ

田和山の樹木 第25回 ムクノキ

田和山には、2009 年 3 月に植栽されたムクノキが一本あります。これは「里山を育てる会」が緑化功労者となつたときに、「森を守ろう山陰ネットワーク会議」から記念に贈られた木です。

まだ、若木のため写真のように樹皮は平滑であるが、成長するに従って次第に割れ目が入り、大木になるとはがれ、そして根は、いわゆる「板根」状になります。葉はケヤキやエノキと似ているために、以前はニレ科に分類されていましたが、DNA 解析の結果べつの仲間として、アサ科に変更されました。葉の表面には、剛毛があり、さわるとザラザラしています。ムクノキを同定する際に活かされています。このザラザラ感、単に剛毛があるからではなく、トクサなどと同様に、植物の表面がケイ酸質の物質で覆われているからです。このようなケイ酸による装甲は、木本植物では珍しいものです。このような性質を利用して漆器などの表面研磨にも使われてきました。ムクノキの葉は、自然が作ったサンドペーパーで、爪を切った先端をなめらかにすることなども簡単にできますので、試してみてもは。 (竹下)



○ 今後の活動予定

11 月 12 日 (金) 13 : 30 ~、20 日 (土) 9 : 00 ~、26 日 (金) 13 : 30 ~、
12 月 3 日 (金) 13 : 30 ~、10 日 (金) 13 : 30 ~、18 日 (土) 9 : 00 ~ 仕事納め

